



認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

Japan Committee, Vaccines for the World's Children (JCV)

KURADASHI.jp 会員さまへの活動報告

この度は、KURADASHI.jp を通じて、当団体の子どもワクチン支援活動にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今回も 321,350 円ものご支援を賜り、これまでのご寄付総額は 1,269,230 円となり、ポリオワクチンに換算しますと約 63,461 人分にもなります。皆さまのあたたかいご支援に、心から感謝を申し上げます。

昨年は、支援 20 年を迎えたミャンマーを視察で訪ねましたが、今年は支援 10 年を迎えるラオスの視察を予定しております。東南アジア唯一の内陸国であるラオスは、日本の本州とほぼ同じ大きさの国土に人口約 680 万人が暮らしています。アジアに残る後発開発途上国のひとつであるラオスのワクチン接種は、ほぼ外国からの支援で成り立っており、日本からも国際協力機構（JICA）が継続して支援を行っていました。

しかし、2007 年に JICA がラオスのワクチン支援から撤退。UNICEF ラオスと保健省からの緊急要請を受け、翌年 JCV が支援を開始しました。JCV が継続支援している 4 カ国の中では最も子どもの死亡率が高いラオス。ワクチン接種率も低い遠隔地で生まれた子どもの死亡率は、首都ヴィエンチャンで生まれた子どもの約 5 倍にもものぼります。こうした国内格差を是正し、定期予防接種の基盤を作るには、まだまだ支援が必要です。

1994 年の設立当初、1 日 8,000 人と言われていた、予防可能な感染症で命を落とす子どもの数も、皆さまの継続したご協力のおかげで、現在は 1 日 4,000 人まで減少いたしました。他方、未だ年間約 140 万人、20 秒に 1 人の子どもが、ワクチン接種を受けられずに亡くなっており、皆さまの引き続きの支援を必要としております。

世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）は今後も、皆さまからお預かりしたご寄付が、ワクチンを必要とする子どもたちに、より効率的かつ効果的に活用される支援を目指して、活動を継続して参ります。今後とも、KURADASHI.jp 会員の皆さまの継続したあたたかいご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ワクチン接種を受けにきた子どもとおばあちゃん（ラオス）



パケオ村の子どもたち（ラオス）